

発熱



38度以上の発熱がある

生後3か月未満ですか？

はい

いいえ

観察をして、いつもと様子が違う

- ①元気がなく、ぐったりしている
- ②水分がとれず、おしっこが長時間でていない
- ③呼びかけにも反応せず眠ったままである
- ④何度も吐く

1週間以上はみる

あてはまらない

自家用車か
タクシーで行く！



救急医療機関を受診してください

明日の朝など、かかりつけ医を受診してください

時間とともに具合が悪くなったら救急医療機関を受診してください

こまめに様子を見てみましょう

- ・熱の始めは温めてあげ、暑がるようなら調節してあげましょう。
- ・少量ずつでもいいので、水分補給をこまめにしましょう。
- ・汗をかいたら、着替えをこまめにしましょう。
- ・気持ちよさそうなら顔や足の付け根、脇をひやしてあげましょう。
- ・熱があっても元気そうなら、解熱剤を使うのは控えましょう。



せき・息苦しさ



次の症状が1つ以上みられますか？

- ①顔色や唇の色が青い。(チアノーゼ)
- ②喉を強く痛がり、唾液を飲み込めない
- ③息苦しさは良くならないのに、ゼーゼー、ヒューヒューが聞こえなくなった

いいえ

はい

ぜんそくと診断され、
手持ちの薬がある
(内服・テープ剤・吸入など)

はい

薬を使用し、
水分を飲ませる。

症状が改善しないなら・・・

救急車を呼ぶ



救急医療機関を受診してください

自家用車か
タクシーで行く！



次の症状が1つ以上みられますか？

- ①犬の遠吠えのようなせきをする
- ②ゼーゼー・ヒューヒューという
- ③息苦しそうで
- ④呼吸が早い
- ⑤肩で息をしている
- ⑥元気がなく、ウトウトしている
- ⑦ゼーゼーする直前、
口に物をくわえていた
- ⑧じんましんが出ている
- ⑨横になって眠れない

いいえ

経過を観察する

様子が
変化したら
症状を再評価



明日の朝など、かかりつけ医を受診してください

ご家庭でできること

- ・お子さんをクッションに寄り掛からせるなど、楽な姿勢を保つ。
- ・部屋を乾燥しないように加湿する。
- ・たんを出しやすくするため、背中をさすったり水分を少しずつ飲ませる。
- ・お子さん本人に処方された気管支拡張剤があれば、それを飲ませて30分～1時間様子を見る。